

団体運営のヒントが見つかる ふらっと相談会を開催しました！

今回の講座では、「団体運営に関する悩みや課題を、立ち止まって一緒に考えてみませんか？」というテーマのもと、団体同士が気軽に話し合える場をつくりました。

ポイント①

既存の企画に子どもたちが楽しめる企画をプラス！

ポイント②

つながるきっかけは積極的に！

ポイント③

情報発信は（プレスリリース）どんどん行う！



Aiseki Club Toyota
愛石クラブとよた

愛石クラブとよたさんを深堀ゲスト団体に迎え、活動の工夫や取組を伺いました！
ファシリテーターの鬼木さん
団体から、田邊さんと小田さん



↓子ども会員も展示会に参加
活動に活気を感じました！



～活動の広がり新しい仲間の輪～

より多くの人に興味をもってもらいたいと3・4年前から毎年開催している展示会では、子ども向けに「石におえかき」コーナーを設置しました。子どもたちが楽しそうに石に絵を描く姿が見られるように。親子で活動へ参加したいという声も増え、今では、小4～91歳までが参加する団体へ。これまでシニア世代中心だった活動に新しい世代が加わるきっかけとなりました。

さらに、会員同士のつながりから地元の酒造からの依頼により、蔵開きに合わせて石の展示会を開催。地域のイベントと連動したことで、活動のPR効果も高まり、来場者1,200名のうち2名が新たに会員として仲間入りしました。

このように、新しい世代が参加できるように工夫したり、展示会を既存の場所以外でも開いたり、報道機関への資料提供（団体の手引きP14～16に依頼の仕方あり）を活用したりと、活動の幅はどんどん広がっています！

デザイナーがメンバーに加わったことで、

チラシもかわいく変化！



会員は海外にまで増え、10年前から、世界遺産の登録に向け地道に署名活動も行っています。



それぞれの団体が抱える課題や日々の悩みを共有しながら、他団体の事例を参考に、運営のヒントやアイデアを交換。同じ活動者だからわかる共感と気づきに満ちた時間となりました。



参加団体11団体・参加者12名で最後に記念撮影！

グループワークから、「明日への1歩」(まずできる小さな目標)を宣言して、みんなでがんばろう!ということで励まし合いました。終了後も団体同士交流が盛り上がりました～📢

参加者からは、「他の団体の取り組みを知ることで視野が広がった」「こどもが入るすきまをつくりたい」「センター相談してみよう!」「愛石さんがやっているように、報道機関へのプレスリリースをやろう!」といった感想も寄せられ、今後の活動に向けた前向きな1歩につながったようです。今後も、こうした“交流から学び合う場”を大切にしていきたいと思います。

次回のセンター主催の団体交流会は、2月28日(土)の市民活動促進補助金の成果発表会後(12:00～13:00を予定)になります。団体交流から活動のヒントをみつけませんか?

みなさんのご参加お待ちしております。



お問合せ:とよた市民活動センター
電話:0565-36-1730